

科目区分	専門分野	授業科目	生活援助技術Ⅱ (フィジカルアセスメント)
講師名	道中 俊成	開講年次	1 年次 第 1 学期
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)		
授業概要 * 講師からのメッセージ	看護を実践するためには、対象となる人の観察とアセスメントが重要になります。この授業では、対象となる人の身体を外側から測定する方法とその原理を身につけていきます。 また、測定するときの配慮についても考え実践に活かしてほしいと思っています。		
目的： 対象に必要な観察を行うための知識と観察技術を習得する。			
目標： 1. 主要な症状から病態のメカニズムを理解し、必要な情報収集と観察項目を導き出す思考過程を養う。			
2. 看護における観察の意義を理解し、五感を活用した問診・視診・触診・打診・聴診の知識と技術を習得できる。			
回	授 業 内 容		
1【講義】	1. フィジカルアセスメントの意義 1) ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント 2) 健康歴とセルフケア能力のアセスメント		
2【講義】	2. フィジカルアセスメントに必要な技術 1) 視診 2) 触診 3) 打診 4) 聴診 5) 全体の概観		
3【講義】	3. バイタルサインの観察とアセスメント 1) 体温 2) 脈拍 3) 呼吸 4) 血圧 5) 意識 6) 計測の技術 7) 生理的変動因子		
4【演習】	バイタルサイン測定の実際 ・身体測定 <演習> ・体温測定 ・脈拍測定 ・呼吸測定 ・血圧測定		
5【演習】	臥床患者のバイタルサイン測定 <技術習得度確認>		
6 【講義・演習】	4. 呼吸器系のフィジカルアセスメント 1) フィジカルアセスメントの目的、基礎知識 2) フィジカルアセスメントの実際 (1) 自覚症状と他覚症状・徴候 (2) 胸部の動き (3) 呼吸音の聴取 (4) 胸部の打診		
7 【講義・演習】	5. 循環器系のフィジカルアセスメント 1) フィジカルアセスメントの目的、基礎知識 2) フィジカルアセスメントの実際 (1) 自覚症状 (2) 他覚症状の視診 (3) 頸静脈の視診と頸静脈圧の測定 (4) 胸部の打診 (5) 触診 (6) 心音の聴診		
8【演習】	胸部(呼吸器系・循環器系)のフィジカルアセスメント ・呼吸音聴取、心音聴取 <演習>		
9 【講義・演習】	6. 腹部のフィジカルアセスメント 1) フィジカルアセスメントの目的、基礎知識 2) フィジカルアセスメントの実際 (1) 自覚症状 (2) 他覚症状の視診 (3) 腸蠕動音、血管雑音の聴診 (4) 打診 (5) 触診 ・腸蠕動音聴取、腹囲測定 <演習>		
10【講義】	7. 筋・骨格系のフィジカルアセスメント 1) フィジカルアセスメントの目的、基礎知識 2) フィジカルアセスメントの実際 (1) 自覚症状 (2) 関節可動域の観察 (3) 徒手筋力テスト (MMT)		

11【講義】	8. 脳・神経系のフィジカルアセスメント 1) フィジカルアセスメントの目的、基礎知識 2) フィジカルアセスメントの実際 (1) 自覚症状 (2) 運動機能の評価 (3) 感覚機能の評価
12【演習】	【演習】筋・骨格系、脳・神経系のフィジカルアセスメント ・意識レベルの評価、関節可動域訓練、徒手筋力テスト
13・14 【演習】	【演習】看護ケアにつなげるフィジカルアセスメント（系統別フィジカルアセスメントの統合） 発熱、呼吸器症状（咳嗽、喀痰、呼吸困難感、動悸）を訴える患者のフィジカルアセスメント ＜技術試験＞ 体温測定、脈拍測定、呼吸測定、血圧測定、呼吸音聴取、心音聴取、SpO2 測定
15 【技術試験】 (45 分)	看護ケアにつなげるフィジカルアセスメント（系統別フィジカルアセスメントの統合） 発熱、呼吸器症状（咳嗽、喀痰、呼吸困難感、動悸）を訴える患者のフィジカルアセスメント ・問診 ・バイタルサイン測定（体温測定、脈拍測定、呼吸測定、血圧測定） ・呼吸器系のフィジカルアセスメント（呼吸音聴取） ・循環器系のフィジカルアセスメント（心音聴取） ・得た情報の統合、報告
15 【筆記試験】 (45 分)	終了試験（45 分）
授業方法	講義、視聴覚教材（DVD、動画）視聴、演示、学生同士の演習
評価方法	技術試験（50％）筆記試験（50％）
テキスト	医学書院：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ ＜参考図書＞ 医学書院：フィジカルアセスメントガイドブック メヂカルフレンド社：はじめてのフィジカルアセスメント メディックメディア：看護が見える フィジカルアセスメント
備考	